

2年生学年だよ

令和2(2020)年6月5日

第8号

吹田市立第二中学校 第二学年

分散登校での授業が始まった！



6月1日に新クラスが発表されて、翌日から出席番号前半・後半に分かれての2分割での分散登校が始まりました。やっと新しいクラスが発表されたものの、分散登校なので教室で会える新クラスの仲間は半分だけ・・・という状況でのスタートですが、休み時間はみんなでワイワイしゃべったり、授業中もハイ！ハイ！と手を挙げたり・・・と、笑顔いっぱい、とても和やかな雰囲気の中で

1学期のスタートを切りました。長い休校期間でガマンしたことがたくさんあったと思いますが、毎日の学校生活で今、自分が思っていることや心配なことを友だちや先生に話したり、休み時間にみんなと笑ったりして少しずつ気分転換しながら、以前の生活のペースに戻してほしいなと思います。

2年生最初の道徳は「コロナの持つ3つの顔」について考えました

6月3日の道徳ではコロナウィルスについて勉強しました。みなさんは今まで何度も「コロナ感染症の予防策」について耳にしてきたと思います。いわゆる「手洗い、うがい、マスクの着用、三密を避ける」などなど・・・です。しかし、実はコロナウィルスという病気はみんなが知っている以外にも別の感染症を持っていたんですね。その内容についてみんなでいろいろな意見を出し合って考えました。



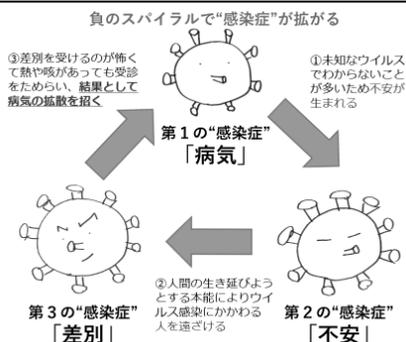
病気の感染が長期間にわたって広がると、人々の心もどんどん平常心ではなくなっていきます。「怖い」「不安だ」という気持ちがどんどん大きくなり、やがては「△△はちゃんと予防をしていないんじゃないか」「〇〇のせいだ」などの「他者を攻撃する気持ち＝差別する気持ち」にエスカレートしていくことがあります。あなたはこの休校期間中、どんな気持ちで過ごしていましたか？・・・と、過去の自分の気持ちを振り返り、みんなの意見を聞きながら学習しました。



道徳の授業を受けた感想・・・

○すべての人に感謝の気持ちをもたなければいけないと思った。
○不安な気持ちを自分だけで抱え込まなくてもいいんだということが分かったし、思い込まないということが大事だということが分かった。

3つの“感染症”は
どうつながっているの？



この“感染症”の怖いところが一人一人が理解して感染の予防に努めることが大切です。

6

○ひとり一人が感染するかもしれないという危機感を持って過ごす。コロナ患者が一人でもいる場合は、その命を救おうとしてくれている人がいるということを考えて行動する。

今日の授業でいろんな意見を聞いて良かった。

○感染のことだけを考えるんじゃなくて、他の人の気持ちを考えるのも大事だと思いました。学校生活では相手の気持ちを考えて過ごす。

○コロナの差別とかを減らすために、できることを考えて、今日出た意見を実際にやってみて、自分は絶対に差別する人にならないように考えようと思いました。いろんな人に感謝していこうと思いました。

○ネットにデマを流さない。差別や偏見の目で見ない。医療従事者の人に感謝する。

○授業を受ける前は自分一人で不安な気持ちとかを抱えていたけれど、今は自分だけで抱え込んでいたらいけないと分かった。

○コロナについていろいろ知ることができてよかった。人がもつ不安などに共感することができた。これからもっとしっかり対策をして頑張っていこうと思う。

○お母さんが医療従事者だから、感謝しようと思った。

○最初は少しマスクをしていない人に対して偏見の意識があったけれど、この授業をとおして、偏見などをなくそうと思った。コロナについての正しい情報だけを信じようと思った。



保護者の皆さまへ

長い休校期間中、保護者のみなさまにはさまざまな面でご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。今後とも学校内での感染予防対策はしっかりと行ってまいります。何かご心配な点がおありでしたら、いつでも学校にご連絡ください。

また、このお便りで載せた道徳授業の資料をお子様を持って帰っていますので、それを見ながら、ご家族でお話していただければ嬉しいです。